



さうと いさいさ あったかい
高知家の教育

令和に求められる資質・能力を育成する授業づくりへの羅針盤 ～授業で力をつける～



発行
R6年12月
西部教育事務所



第3学年 きょうみを持ったことをようかいしよう

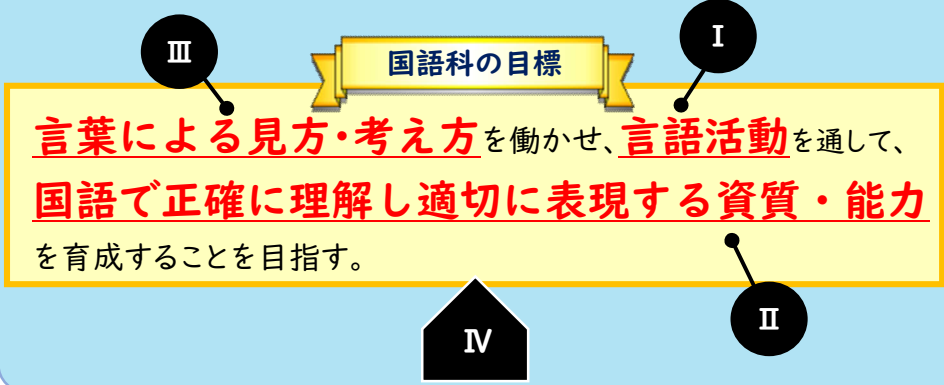
【教材「せっちゃくざいの今と昔」(東京書籍)】

単元の目標

- ◆考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。【知識及び技能】
- ◆目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。【思考力、判断力、表現力等】
- ◆言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとすることができる。【学びに向かう力、人間性等】

入野小学校 授業づくり “4つの提案”

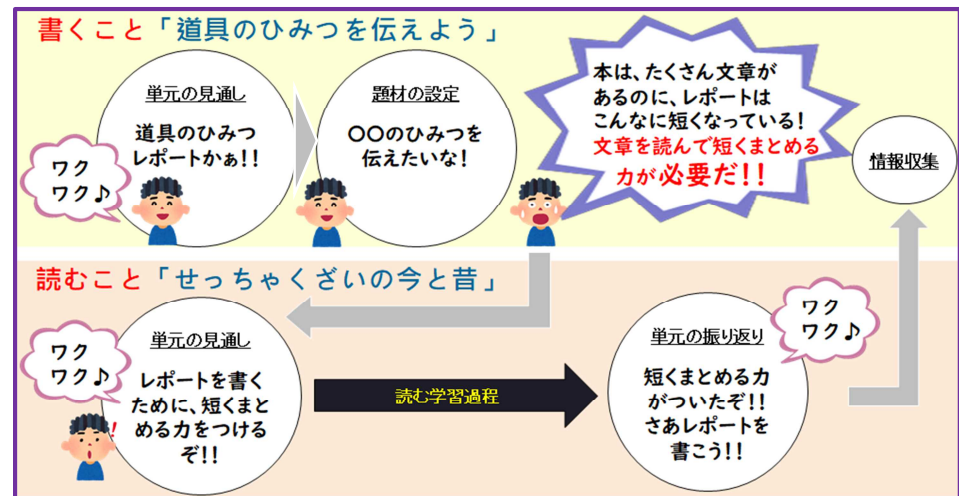
学習指導要領に示されている「国語科の目標」に基づいた授業づくりを提案してくれました。



I 単元づくりの工夫

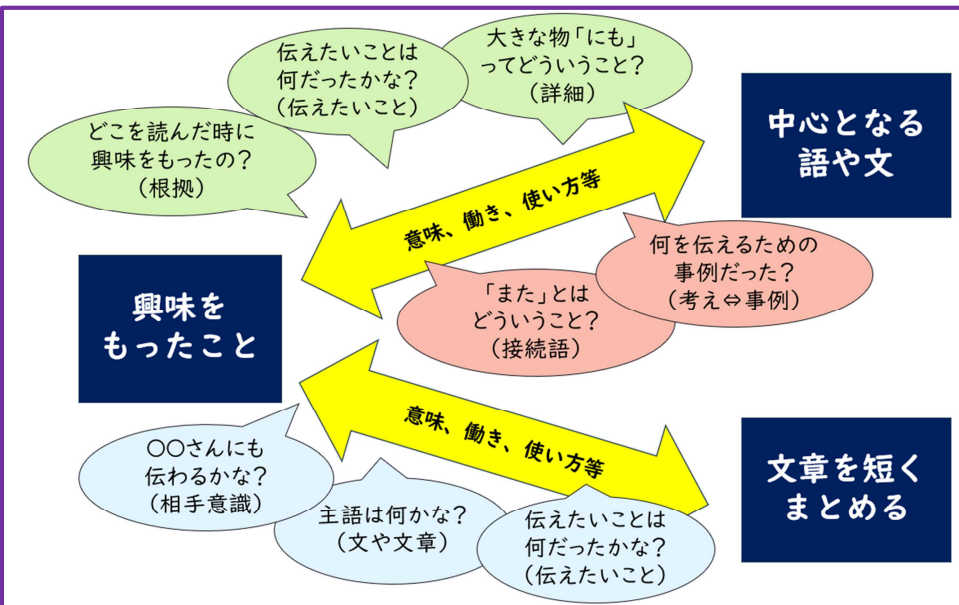
入野小学校では、日々、子供たちに“ワクワク”しながら学習に取り組んでもらいたいと考えています。今回の授業に向けては、資質・能力を確認した後、**文章を読む目的をしっかりとつとめる言語活動**を設定するために熟考しました。

そして、次の単元(領域「書くこと」)の学習を先にスタートすることで、レポート作成には、「多くの文章を短くまとめる力が必要だ。」と気付かせ、本単元(領域「読むこと」)において、要約する力を付けた後に、次単元に戻っていくといった“書くために読む”複合的な単元を構想しました。



III 見方・考え方の明確化

本時では、興味をもった事例について要約するために、①中心となる語や文は何か? ②選んだ語や文を中心として、内容を短くまとめるには?という課題に対して見方・考え方を働かせることが大切です。そこで、**教師は子供のより深い学びの実現に向け、見方・考え方を引き出すためにどのように発問するとよいかを考えておく必要があります。**例えば、①では、根拠を尋ねる。伝えたいことを明確にする。言葉の意味を尋ねる。文章の構造を確認する。②では、相手意識をもたせ、主語を確かにする。伝えたいことを確認して中心となる語や文以外に必要な言葉に気付かせるなどが考えられます。



学びの過程を意識しながら、子供たちが主体的に学べる学び方を追求する。まずは、自分が実践し校内に伝えていきたいです。

単元構想の段階で、教材や学習指導要領を結びつけながら、児童のどのような姿がゴールになるか明確にしておきたいです。また、単元の進行中も大事なポイントを見守るような手立ての工夫が必要だと学びました。児童にとって学ぶ意欲につながる単元づくりをしていきたいです。

子供たちの思考の流れを具体的にイメージすることで、教師側の見通しや対応を考えることの大切さを実感できました。

黒潮町立入野小学校

教材研究会(台風接近の為中止)
授業研究会 10月25日(金)

教材研究会が中止となり、参会の先生方と教材研究を深めることができなかったことは、とても残念でした。

しかし、入野小学校では、文部科学省の大塚調査官から授業研究会に向けたご指導をいただき、教職員が一丸となって協議を重ねていきました。

授業研究会では、入野小の提案を受け、「要約すること」を改めて考える機会になりました。



授業者:小松美晴 教諭

<授業づくり講座を終えて>
児童が自分たちで課題を解決しているような対話の方法や、時間設定を工夫していきたいです。

II 資質・能力の明確化

本時の目標

目的を意識して、
中心となる語や文を見付けて
要約することができる。

「自分が知るべきことについて詳しく知る」ことを意識しながら
(学習指導要領解説 1・2年生)

文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめること
(学習指導要領解説 3・4年生)

文部科学省
初等中等教育局
大塚調査官
より

要約は読む力なので、書き方を評価するのではなく、**要約すること、興味を持った話の内容を解釈できているかどうかを評価します。**中心文を抜き出すだけでなく、その周りの文章にも目を向ける必要があります。



例「接着剤って、いろんなところに使われているんだね!」と興味を持った子供の場合

教材文

接着剤は、身の回りのいろいろなところに使われています。例えば、**体操服のゼッケン**にはアイロンでくっつけるものがありますが、ゼッケンの裏には熱で溶ける接着剤が使われています。みなさんの持っているこの**教科書**も、接着剤で何枚もの紙をくっつけて作られています。また、**飛行機や電車**などを作るときにも、接着剤が活躍します。飛行機や電車は、多くの部品を取りつけて作りますが、ねじのように小さい物をたくさん使うと、それだけで重くなってしまう。ねじなどの代わりに接着剤を使うことで、機体や車両を軽くすることができるのです。

要約例

接着剤は、体操服のゼッケンや教科書、飛行機や電車など身の回りのいろいろなところに使われている。

資質・能力を身に付けた子供の姿

IV

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

<自己調整しながら学んでいる子供たちの様子と教師の動き>

- ① 課題解決の見通しをもった子供たちは、まずはしっかり自分の力で要約を始めました。
- ② できた子供から写真を撮り、共有できるよう提出します。
- ③ 早くできた子供も、少し悩んでいる子供も、自分のペースで友達の要約を参考にしながら、自身の要約に取り組んでいました。
- ④ また、興味をもったところが似ている友達同士、読み合っている姿もありました。
- ⑤ その間、教師は、手が止まっている子供に対して支援をしていました。



本時では、同じ時間の中で、子供たちが様々な活動をしていました。自分に合った方法を選択し、学び進めていくためには、一人一台端末を有効なツールとして、学年の発達段階に応じて活用していくことが必要です。